

運営会議報告 2025.6.15

以下の事項について話し合いました。

■報告・確認事項

1・意見箱に関して

意見箱の管理体制について問い合わせがあり、寄せられた意見に対する回答は書面で保管することになっている。相手方にも個人的に回答しており、内容については運営委員会で共有し、意見箱の管理については委員の交代もあったことから今後、役割を検討する。

2・宣司評報告

「一粒会献金について」

札幌教区から一粒会献金に関しての報告で宮前町教会の献金額が減額しているとのこと。理由としては年1回特別献金として募金箱を設けているが、他の特別献金と重なることもあり信徒に強制できない実情であると財務からの回答がみられた。又、募金の使用用途、必要性を確認しつつ募金期間の調整を行うとのこと。

「シノドス 霊における対話講習会について」

7月20日（日）講師を招き宮前町教会において勉強会を開催。

受講者は函館地区役員その他、委員を中心に全体で約30名の参加を見込む。

11時開催し昼食を挟み15時終了予定。

3・避難訓練日程 大掃除日程

避難訓練の日程は9月7日 *8月の2週目までに全体像を決定

大掃除の日程は10月12日

4・カトリックジャパンダイジェストについて

現在、カトリック新聞が休刊になり各教会にミサ参加数にあわせての部数が無料で届いている。（宮前教会は34部）ダイジェストについてのアンケートの期限は6月25日。部数が不足し希望者にわたらないこともあるとの意見がある他、部数や購入金額などについても運営委員担当者が中央協議会に確認することになった。

裏へ続く

■討議事項

1・わたしたちの宣教について

”大きな方向性を考えて宣教のあり方を進んで行くためには”という視点で意見が交換された。

例) 地域の人たちにも向けられたバザー

教会を利用する各団体への宣教

宣教の対象を外部だけではなく内部に向けることも必要。

- 自分たちの子ども世代が教会から離れている。該当する子、孫に教会学校からの案内があれば教会に来るきっかけになるのでは。
- 初めて教会に来られた方に対してはノートに名前を記入していただき、本人の承諾のもとミサ後に先唱から紹介をすることを検討。
- 要理や聖書の勉強会に通ったから今まで教会とつながることが出来た。
要理を教える人の養成が課題
- 書店にカトリック関係の書籍が少ない。
- 教会から遠距離だったり諸事情で来るのが困難な方のためにライブで映像を提供しては。
- 外国の方からミサにあずかる熱心さを感じる。
- カトリック信者としての姿勢、態度など他者に示す。

次回の議題は以下の予定

- 1・宣教において新たな接点を増やす方法
- 2・シノドス 霊における対話
他